

基本情報						
教科・科目		理科 2		・授業で使用するもの 教科書：学校図書「中学校科学1」「中学校科学2」 問題集：教育開発出版株式会社「中学の生物」 資料集：新学社「グラフィック理科資料集」		
担当者		古城戸 香苗				
評価割合（試験：試験外）		試験：5 試験外：5				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		生物の特徴や性質を理解するとともに共通性や多様性に着目する視点を養い、日常生活においてもさまざまな視点から物質や事象を観察し規則性や関係性を見出すことができる。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		共通性や多様性に気づくとともに、規則性や関連性を見出した事象と周囲の事象との関連を分析して解釈して思考することができる。		
		探求・睿智（主体的に学習に取り組む態度）		身近な生物の形質や細胞の観察を通して生物に関する興味関心を高め、学習内容をもとに日常生活の生命の諸現象を説明しようとする。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		科学 1 身近な生物の観察 植物の分類	鍛錬）植物の細胞まで観察するために、観察実験を通じて実験器具を正しく使用し、観察対象を観察することができる。	・ 回転寿司ネタの分類わけ 分類をおこなうために重要な視点を探る。	講義 フィールドワーク 観察・実験 グループ活動	・ 授業内成果物 ・ 小テスト
5			理知）形質と生存の関係について想像するために、花を構造的に理解するとともに、それぞれの部位の形状と役割を説明することができる。	・ 植物の観察 花のつくり、葉の形状・生え方、根の種類、花粉の運び方の区別を植物のつくりをもとに考える。		
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日）植物の特徴と分類（被子植物）					
6		科学 1 植物の分類	鍛錬）色々な生物を比較して見出した共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	・ 植物の分類表 多様な植物の特徴をもとに基準を明確にしながら表の作成を行う。	講義 フィールドワーク グループ活動	・ 授業内成果物 ・ グループ相互評価 ・ 小テスト
7			探求・睿智）生物の特徴や性質をもとに、身の回りの生物を分類することができる。	・ 校内植物マップの作成 植物の分類に基づいて校内の植生を調べる。		
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲）植物の特徴と分類（植物全体）					
8		科学 1 動物の分類	鍛錬）色々な生物を比較して見出した共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	・ 動物の分類 背骨の有無、生活環境や形態、子の産み方、体温の保ちかたを基準にして動物の分類分けを行う。	講義 グループ活動	・ 授業内成果物 ・ グループ相互評価 ・ 小テスト
9						
10		科学 1 動物の分類	鍛錬）色々な生物を比較して見出した共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	・ 動物の分類 背骨の有無、生活環境や形態、子の産み方、体温の保ちかたを基準にして動物の分類分けを行う。	講義 グループ活動	・ 授業内成果物 ・ グループ相互評価 ・ 小テスト
10	定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日 範囲）動物の分類					
11		科学 2 生物のからだと細胞	鍛錬）動物と植物の違いを理解するために、細胞レベルでみた生物の共通点と相違点に気づき、生物の体のつくりとはたらきの規則性と共通性を見出すことができる。	・ 動物と植物の違い 独立栄養生物と従属栄養生物 ・ 植物のつくりとはたらき 植物はどこから水を取り入れてどう移動し全体に届けるのか。植物が吸い上げた水はその後どうなるのか。	講義 観察・実験	・ 授業内成果物 ・ グループ相互評価 ・ 小テスト
12			理知）実験結果を通して、生物学的な「生」について自分の言葉で説明することができる。	・ 植物の細胞の観察 ・ 光合成 澱粉の形成と二酸化炭素の吸収について		
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日 範囲）生物のからだと細胞					
1		科学 2 動物のつくりとはたらき	鍛錬）動物の体内で起こる消化について実験をもとに説明することができる。	・ 消化の仕組み 唾液の分解実験、酵素のはたらき、養分の運搬と吸収	講義 観察・実験	・ 授業内成果物 ・ グループ相互評価 ・ 小テスト
2			理知）唾液中のアミラーゼによって澱粉が分解するのはどのような実験で確かめられるのか実験計画を立てることができる。	・ 血液の循環 血管とその通り道、不要物の排出と体内環境の維持に関係について探る。		
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日—3月6日 範囲）動物のつくりとはたらき					